グループワークシート　⑤班（B-1 仕事と生活が調和した社会の形成）

上越市 JOETSU CITY

○B-1-1 ワーク・ライフ・バランスの更なる推進

＜2045年の上越市のありたい姿（例）＞

・働く意欲のある市民が、育児や介護などの家庭の事情、病気や身体の不自由、性別などに関わらず、事業主の合理的な配慮の下、仕事と家庭の調和を図りながら生き生きとやりがいを持って働き、充実した生活を送ることができている。

＜検討のポイント＞

○施策の状況
- KPI
- これまでの主な取組（団体/市）

○社会経済環境の変化等
- ICTの進展とデジタル化の加速＝DX
- 地球規模での環境問題の深刻化＝脱炭素
- 外国人市民の増加

＜次期総合戦略の方向性の検討＞

・現状とありたい姿とのギャップ
・ギャップを緩和するための方策（＝方向性）

＜現戦略の基本的な考え方＞

○B-1-1 ワーク・ライフ・バランスの更なる推進

・男性の子育て参画促進を通じて女性の子育てに関する負担感軽減や、子育て中にある女性の就職率向上による世帯収入の向上に向けて、仕事と生活の調和を更に推進します。
・関係機関・団体が連携・協力し、企業・経営者と労働者・家庭の双方におけるワーク・ライフ・バランスに対する理解を促進するための意識啓発活動を推進します。

グループワークシート　⑥班（B-2 結婚・出産・子育ての希望を実現しやすい環境づくり）

上越市 JOETSU CITY

○B-2-1 自然な出逢いと結婚の希望の実現、B-2-2 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

＜2045年の上越市のありたい姿（例）＞

・結婚を希望する市民が「自分にあった相手との結婚を実現できる」とともに、自らの主体的な選択により「結婚を希望する人が増えている」。
・安心して子どもを産み、子どもの健やかな成長が育まれ、保護者のライフスタイルに応じて安心して保育園等が利用でき、喜びと生きがいをもって子育てができている。
・教育環境を取り巻く状況の変化に応じた学習環境が整い、経済的負担が軽減され、安心して子育てができている。

＜検討のポイント＞

○施策の状況
- KPI
- これまでの主な取組（団体/市）

○社会経済環境の変化等
- ICTの進展とデジタル化の加速＝DX
- 地球規模での環境問題の深刻化＝脱炭素
- 外国人市民の増加

＜次期総合戦略の方向性の検討＞

・現状とありたい姿とのギャップ
・ギャップを緩和するための方策（＝方向性）

＜現戦略の基本的な考え方＞

<u>○B-2-1 自然な出逢いと結婚の希望の実現</u>

・協議会参加団体が各々のイベント等を主催する際に、副次的に「自然な出逢いの場」が創出されるよう、若者世代が参加しやすい仕組みや、若者同士が交流する仕掛けを取り入れる意識の醸成を図ります。
・結婚の希望を実現しやすい環境を整えるため、自らの魅力を磨き、自分にあった結婚を実現するための行動や心構えなどを考える機会や情報を提供します。

<u>○B-2-2 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援</u>

・妊娠・出産・子育てに対する正しい理解を深めることのできる相談体制と親への支援の充実を図ります。
・子育ての負担や不安、孤立感を和らげるよう、地域や社会が親に寄り添い、切れ目のない支援体制を構築します。
・子育て世代が仕事をしながら、安心して子育てすることが可能となるよう、保育園等の適正な配置と保育環境の充実を図るとともに、ニーズの多様化に対応した保育サービスの提供に取り組みます。

グループワークシート　⑦班（B-2 結婚・出産・子育ての希望を実現しやすい環境づくり）

上越市 JOETSU CITY

○B-2-4 地域ぐるみの子育ての推進、B-2-5 上越の子育て環境の魅力発信

＜2045年の上越市のありたい姿（例）＞

・学校・保護者・地域が連携し、地域とともによりよい学校づくりを推進し、地域ぐるみで子どもたちの育成と教育活動を行っている。
・それぞれの地域で育てたい子ども像について、学校と地域が話し合って共有し、互いに連携・協働しながら、地域の特色をいかした教育活動が展開されている。
・市内の全ての子育て家庭が子育て支援サービスを把握し、適切に利用できるとともに、市内外の子育て世代から選ばれている。

＜検討のポイント＞

○施策の状況
- KPI
- これまでの主な取組（団体/市）

○社会経済環境の変化等
- ICTの進展とデジタル化の加速＝DX
- 地球規模での環境問題の深刻化＝脱炭素
- 外国人市民の増加

＜次期総合戦略の方向性の検討＞

・現状とありたい姿とのギャップ
・ギャップを緩和するための方策（＝方向性）

＜現戦略の基本的な考え方＞

○B-2-4 地域ぐるみの子育ての推進

・地域の子どもは地域で育てるとの考え方に立ち、未来を担う子どもたちが自主性と社会性を身につけ、地域に貢献したいという気持ちを育むことができるよう、学校・家庭・地域が連携し、コミュニティ・スクールや地域青少年育成会議等の活動を通じて、地域ぐるみの子育てを推進します。

○B-2-5 上越の子育て環境の魅力発信

・子育て支援策について、様々な主体とともに、丁寧かつ積極的な情報提供・情報発信に力を入れることで、市民が子育て環境に係るサービスを適切に利用できるようにするとともに、その情報が市外の子育て世代に対して広く伝わるように取り組みます。